令和３年度第１回　瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会

通常事業事前審査　議事録

日　　時：令和３年４月２１日（水）　午後６時３０分から午後８時４０分
場　　所：瑞浪市役所西分庁舎　１階会議室
出席委員：山内　正雄（委員長）、澤井　芳美（副委員長）、平中　学、柴田　洋子、
辻本　紀み子、大宮　康一

※ 委員６名中６名の出席であり、委員の過半数の出席となり、瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会規則第６条第２項の規定により、本会議は成立。

事　務　局：瑞　　浪　　市　　長　水野　光二
事　務　局：まちづくり推進部長　小木曽　昌弘
事務局職員：市　民　協　働　課　長　加藤　博史
事務局職員：まちづくり支援係長　渡辺　裕
事務局職員：ま ち づ く り 支 援 係　中筬　高弘

次　　第：

１．委嘱状交付
２．市長あいさつ
３．審査会委員紹介及び委員長あいさつ
４．審査会の進め方、申請状況等について（事務局）
５．審査　①各地区からの事業説明
②質疑・意見交換
６．事務連絡
７．閉会

【次第２　市長あいさつ】

改めまして、皆さんこんばんは。今年度は審査会委員の改選を行い、昨年度で任期が満了した委員さんに代わり、２名の新しい委員を含めた方々に、委嘱状を交付させていただきました。それぞれのご経験を活かしていただきながら、本日お越しの皆さまの事業に対してのご指摘やご提案をいただきたいと思います。さて、コロナの感染者が瑞浪でも出ていまして、現在のところ毎日１人ずつほど感染者が発表されています。ワクチン接種が始まらないと収束は難しいものと思っていますが、現在しっかりとワクチン接種の準備を行っています。今月末には接種のご案内を送付できるかなと思っています。今日は夢づくり地域交付金の審査会ということでございまして、各地区のまちづくりの皆さんから、今年度の事業の提案をいただきます。しかしながら、昨年度は、残念ながら、新型コロナウイルス感染症拡大を受けまして、ほぼすべての事業が行えなかったものと認識しております。今まで長年、地域の課題解消や、地域の活性化に大きな役割を果たしてきた、まちづくりの皆さん方の本来の役割を果たすことが叶わなかった年であり、また地域の皆さんにとっても、大変残念な年であったのではないかと思います。また、引続きワクチン接種が完了するまでは、予断を許さない状況が続くものと思っています。したがいまして、本日申請いただいている事業についても、予定通り行えるかどうかは、手探りで都度検討していっていただくことになろうかと思っています。しかしながら、この夢づくり地域交付金事業は、地域にとって大切な事業でありますので、先の１年の経験を活かして、行えるものは行っていただきたい。また、この１年間についても、仮に事業が出来なかったとしても、色々と創意工夫をする１年としていただき、平常を取り戻した日には、その経験・アイデアを存分に活かしていただきたいと思いますので、それぞれの地区の事業提案をそういった目で審査いただきたいと思います。決して難しい観点から審査していただく必要はありません。気づかれたことやご自分の経験で思われることを忌憚なく発言いただきたい。そういった発言を、各地区のまちづくりの皆さんは、とてもいいアドバイスとして各地区のまちづくりに活かしていただけるものと期待しています。皆さんのアドバイスが各地区の道しるべになるものと思いますので、どうか今回より２年間、瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会にご出席いただくようお願いをします。以上あいさつとさせていただきます。

【次第３　審査会委員紹介及び委員長あいさつ（山内委員長）】

≪審査会委員紹介≫

別添名簿のとおり

≪委員長あいさつ≫

今年度も委員長の推薦をいただきましたので、力の限り務めさせていただきます。先ほど事務局からもご紹介いただきましたが、各地区のウォーキングなどのイベントに常日頃から参加しているところ、コロナ禍のため、全く参加することができず、その結果、コロナ太りといったことにもなっています。早くワクチン接種が完了し、そういったイベントに参加できるようになることを切に願いながら、委員長の職務を遂行していきたいと思っています。

本日は、各地区の事業を応援できるような審査、意見交換に努めたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

【次第４　審査会の進め方、申請状況等について】

≪審査会の進め方について事務局より説明≫

～質疑なし～

【次第５　審査】

≪①各地区からの事業説明≫

～省略～

≪②質疑・意見交換≫

瑞浪地区まちづくり推進協議会（以下「瑞浪」）

〇委員　潤いのあるまちづくり事業

ミツバチの飼育とあり、多くの人が関わるのでとても良いこと事業だと思ったのですが、将来的にハチミツをきなぁたなどで売るような検討してみえますか。

●瑞浪

そこまでのことができれば良いなと思ってはいます。瑞浪地区は自己財源が少ないので、収益を生むまでになれれば良いなとは思っていますが、ホタル育成と同様、生き物を相手にするのは難しくて、現実としてそこまで発展するのは厳しいかと考えています。収益とまでいかなくとも、ミツバチが全国的に少なくなっていること。またミツバチの活動で果実が実るといったこと、自然の大切さの勉強にもなることがこの事業の目的にもなっています。

〇委員　地域内の交流が活発なまちづくり事業

芋苗などを植えるのは人を募集して行いますか。

●瑞浪

コロナの関係で申込・予約制で募集をします。できれば、子どもたちにも参加して欲しいと思っています。芋苗・田植えなどはなかなか人が集まりませんが、芋ほり大会などには多く人が集まる傾向にあります。

〇委員　地域内の交流が活発なまちづくり事業

芋ほり大会の参加者の年代層などは、だいたいどの年代層なのか教えていただけますか。

●瑞浪

若い家族が多いですね。下は幼稚園から、上は小学生くらいまでの年代の方が参加されています。最近気になっていることですが、田植えなんかで、子どもたちが遊ばないことが見受けられます。泥んこになってあそんでほしいのですが。

〇委員

さきほどの田植えではあまり人が集まらないといった話とも通じているとも思いますが、やはりお子さんは、親の立ち振る舞いを見て行動しますので、田植えの際に、大人が泥んこになって楽しむというか、田植えの行い方、募集の仕方で変わるかもしれないなと思います。そこから色んな活動にもつながっていくのかなと思います。

〇委員　地域内の交流が活発なまちづくり事業

芋苗などを植える土地は地域の方にお借りしているのですか。

●瑞浪

土地は瑞浪地区のまちづくりのためならということで無償提供してもらっています。また駐車場についても無償で貸していただいています。

○委員　地域内の交流が活発なまちづくり事業

募集の対象は瑞浪地区の方ですか。

●瑞浪

基本的にはそうです。ただし他地域からもみえています。

○委員

以前笠置の棚田の田植えで観光バスで人を連れて大々的に行っているのを拝見したことがありまして、もし叶うのであれば、田植えの面白さを知っていただく機会ですし、そういった活動の仕方も検討していただけると良いかと思います。

○委員　潤いのあるまちづくり事業

美化啓発のマスク配布の事業について、どういった内容ですか。

●瑞浪

昨年度までは、うちわ等を配っていたのですが、コロナの関係で、不織布マスクに美化活動の写真等を写して３枚セットを駅前等で配布する予定です。

・市長コメント

昨年度は難しい一年だったかと思います。また、今年についても、ワクチン接種が完了するまでは、難しいかじ取りを余儀なくされるものと思いますが、コロナ禍で行えないとばかりせず、対策をとって行えるものは行っていただくといった姿勢を大事にしていただきたいと思います。住民の皆さんとのふれ合いであったり、コミュニケーションが希薄になりがちだと思います。最も危険なマスクを外す場面を避けて、活動をしていただきたいと思います。瑞浪地区は市内のなかでも市街地の地区ですので、住民の方も多いですし、お子さんも多いです。ある意味、都会的なお子さんたちが、田植え、収穫をすることは、なかなかない機会ですので、良い取り組みだと思います。ぜひとも対策をしたうえで事業を実施していただきたいと思います。ただ一点、先ほどの意見交換でも話が出ていましたが、田植えなどの植え付けになかなか人が参加されないとのことですので、やはりこの植え付けも大変意義あるものですから、委員からもアドバイスいただきましたように、植え付けの際に親と一緒に楽しんで参加できる取り組みをお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

土岐地区まちづくり推進協議会（以下「土岐」）

○委員　歴史文化ふれあいづくり事業

夏祭りの代わりにウォーキングイベントを考案されていますが、ここでキッチンカーの依頼が項目に入っています。これは具体的にどのようなものですか。

●土岐

これから部会で詳細な検討をしていくことになりますが、現段階での予定としては、まちづくりのほうで料理の提供等を行うのは難しいですので、キッチンカーなどを事業として行われる業者さんに依頼

して、行っていこうといったものになります。内容はこれから検討いたします。

〇委員　中学生と語る会開催事業

瑞浪北中学校での参加者は、その校区の中学生が参加するのか、それにかかわらず、連携する地区からの参加者となるのでしょうか。

●土岐

瑞浪北中学校は校区が５地区ありまして、その５地区が連携して行っていこうといったものです。ですので、連携する地区と校区は同じ構成となります。

〇委員

主に中学校何年生が参加されるのでしょうか。

●土岐

主に中学校３年生が中心で参加しています。地域の活性化のために皆さんならどうしますかといったテーマを決めてグループごとで発表してもらっています。また昼食については、防災意識向上も目的として、自分たちで非常食を作って食べてもらうといったこともしています。

・市長コメント

まずは、申請書の資料をしっかりと活用いただいてのプレゼンテーション、大変分かりやすかったと思います。お疲れ様でした。コロナ禍ではありますが、しっかりと対策したうえで、行える事業は行っていって欲しいと思います。また、中学生と語る会については、大変重要な事業だと感じています。将来ある中学生たちが地域のことを考える、地域の大人たちとつながりができる大変意義あるものだと考えます。今、瑞浪市では、令和６年度までに各地区にコミュニティスクールを導入する予定です。釜戸地区・稲津地区でモデル校として始めています。ゆくゆくは全校にわたって始めていきたいと考えています。このコミュニティスクールは、地域の方がいかに学校運営に参加いただけるか、地域の大人たちの経験を学校に教えることができるのかといった大きなテーマがありますから、そちらにも繋がるような活動にしていただきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

明日の稲津を築くまちづくり推進協議会（以下「稲津」）

〇委員　青少年健全育成事業

稲津の地区は子供やお年寄りを大切にされた事業が多くて、申請書を読ませていただいて関心いたしました。その中であいさつ運動が通年と記載があるのですが、どのように行われているのですか？

●稲津

登校時や下校時に見守り活動をしていただき、その活動をしていただいた方に挨拶をしていただいています。市内の１１か所にそれぞれ交差点等に立っていただいて、交通安全を見守っていただく際にあいさつ運動をしていただいています。

〇委員　文化・芸術・スポーツ推進事業

この事業については、コロナ禍での取り組みとしては大変厳しい状況になることも考えられますが、今年度の予定はどのように考えていますか。

●稲津

この事業は稲津のまちづくりの肝の事業となっています。と言いますのも、異世代の交流、コロナの時代に一人にならないような地域づくりができることを、稲津のまちづくりの願いとして考えているからです。今年のまちづくりとしては、できないということではなく、どうやって実施できるかを念頭において計画しております。例えばふれあい映画館については、従来学校の施設をお借りしていたところ、公民館で、午前・午後と人数制限を設けて実施する予定です。今後の感染の状況によっては、それでも中止せざるを得ないこともあろうかと思いますが、姿勢としては、どうやって実施できるかを模索していく所存です。

○委員　まちづくり推進事業

いいなっつ農園のネーミングがとても可愛いと思いました。またこのコロナ禍で農園体験や幅広い年代の方と交流できるのもとてもいい事業だと思いました。

○委員　文化・芸術・スポーツ推進事業

フォークビレッジという事業はどのようなものですか？

●稲津

もともとは、スポーツ文化クラブといった団体があります。その中でギターを弾きたいといった子供たちが集まってきて、練習を行っていました。そこから、発表の機会があるといいということになって、稲津ミュージッククラブ（IMC）として活動を行うようになりました。町外の参加者もあり、年々大きくなっている事業になります。

○委員　まちづくり情報発信事業

ホームページ更新はどのくらいの頻度でしてみえますか？

●稲津

ホームページの内容については、桜が咲きましたといったことなどを稲津町を周って更新していますし、都度イベントや、各種団体の事業に同行させてもらって更新を行っています。

・市長コメント

稲津はNPO法人として法人化されていまして、しっかりとした基盤で事業を遂行されています。私もほぼすべての事業に参加させていただいていますが、本当に町民の皆さんが、笑顔で楽しんで参加されているのが印象的です。稲津の様々なまちづくりというのは、本当に成熟されてきているように感じています。特にフォークビレッジを初め、文化・芸術の分野の事業が先進的だと思います。芸達者な方が多いこともありますが、そういった方々が子どもたちを育ててきたんだと今日の話を初めて聴きました。やはりそのような土壌もあって今日の稲津があるのだなぁと感じています。コロナに打ち勝っていただいて、頑張っていただきたいと思います。

釜戸町まちづくり推進協議会（以下「釜戸」）

〇委員　青少年健全育成事業

瑞浪高校生活福祉科と連携して、“青龍”の衣装を新調するといった記載がありますが、これは授業で行ってもらえるのか、完全にボランティア活動なのかどちらですか。

●釜戸

授業の一環として、作成いただきます。卒業制作ということで行ってもらいます。今年に関しては、秋から制作に取り組んでいただく予定です。

〇委員　かまど活性化・魅力発信事業

かまど活性化・魅力発信事業の、マルシェとイベントというのは、具体的に決まっていますか？

●釜戸

まだ、案の段階でして、３役会で絞り、５月１１日に行われる夏祭り実行委員会で決定していきたいと考えています。飲食を伴う、マルシェが行えるかといった観点からも検討してきます。

〇委員　かまど活性化・魅力発信事業

河童がまちのキャラクターとなっていますが、河童の伝説などがあるのですか。

●釜戸

よすけと河童という昔話がありまして、その昔話からキャラクターなどを PR しています。

・市長コメント

今年はコロナ対策をしっかりしていただいて、行えるものは行っていただきたいと思います。話の中にもありましたが、開催時期を遅らせて実施するといったお話もありましたが、そういった手法でも結構ですので、対策を検討し、実施していって欲しいと思っています。今、ご質問がありましたが、釜戸町は伝説をうまく活用して、一つのまちづくりのテーマとして、行っています。テーマが一貫していて、それを軸に事が運んでいて、基盤がしっかりしているなと思っています。それと、釜戸はコミュニティスクールとしていち早く地域との交流を始めていただいておりますので、それをうまくまちづくりに活かせていると思っています。これからもぜひ学校とも連携していただき、更なるまちづくり活動の活性化をお願いしたいと思います。なかなか地域の方だけでは、地域のイベント等は維持できない場合もありますので、地域の学校や企業さんを巻き込んで実施していって欲しいと思います。

大湫町コミュニティ推進協議会（以下「大湫」）

〇委員　子育て支援事業

こういった遊具というのは、怪我した際の責任問題を回避するために、設置について慎重になりがちですが、新たに整備していくことに対する取り組みといったものはありますか。

●大湫

市の子育て支援課との協議をし、どこまでが課として管理するものか、また、それ以外のものについては、児童施設の障害保険に加入していくといった計画でいます。

〇委員

遊具の設置はとても素晴らしいことだと思うのですが、管理の面が難しいかなと感じてさきほどの質問をしましたが、きちんと計画を立てられてて、地域での管理を行うということに感激しました。

〇委員　子育て支援事業

もちろん母親が子供に接する機会多いと思いますが、これからの時代として、父親が子育てをする時代ですので、お父さんの意見を聴く機会は設けましたか。

●大湫

集まっていただいたメンバーには、父親はいなかったので、またそういった機会を設けたいと思います。

・市長コメント

大湫町はまちづくりの歴史が３０年超えるまちです。瑞浪のなかでは、陶町と大湫町が長い歴史を持っています。かつては、それぞれのまち独自で活動を行われていたのですが、現在は市と協働して行ってもらっています。大湫町は、他地区の事業と少し異なっていまして、地域の課題解消を目的とした事業が、ここ最近はずっと続いています。そこに大湫町の良さが表れていると思います。大湫に帰ってくる方、移り住む方がいらっしゃるのかなと思います。イベントももちろん大事ですが、こういった取り組みも大事ですので、是非とも他地区のまちづくりの方々にもこういった地域の課題解消の取り組みを参考にしていただきたいとも思います。

日吉町まちづくり推進協議会（以下「日吉」）

〇委員　特産品開発事業

しいたけ栽培をふるさと納税品としているとお伺いしましたが、こちらの栽培に携わる方々はボランティアで行われていますか。

●日吉

しいたけを収穫していただける方には、謝礼を支払っています。乾燥・加工については、集落支援員の私が行っています。

〇委員　特産品開発事業

天狗の台所という施設について、私たち市民が何か、例えば、切った野菜などを乾燥したいといったことで使用できるのでしょうか。

●日吉

はい。市民の方であれば、利用料をお支払いいただいてお使いいただけます。ただし１トレーが大変大きなものとなっていますので、例えば２～３人で１トレーをご使用いただくといった方法がおすすめです。

〇委員　青少年育成支援事業

あいさつ運動については、具体的にはどのように活動される予定ですか。

●日吉

まだ具体的には決まっていませんが、小学校と協力して行っていきたいなと思っています。登校時に見回りと挨拶を行っているのですが、そういった取り組みをもう少し前進させていきたいなと思っています。

・市長コメント

どの地区でも同じですが、昨年はあまりコロナで活動ができなかったと思いますが、対策を打ちながら行えるものは、行っていっていただきたいと思います。日吉のまちづくりの特徴的なところは、収益事業を行っているところが、ほかのまちづくりと大きく異なっているところだと思います。ただし、収益のみで事業が進んでいくといったところまではいっていないですので、どんどん PR 等もして収益があがるようにしていただけると良いなと思っています。またぜひとも前に進めていただきたいのが、空き家対策です。大洲町が上手にやっていただいているので、参考にしていただきたいと思います。日吉は割と市街地に近く、また景色も良いですし、農業を営みたい方には大変住みよいところだと思います。ぜひ空き家をうまく活用していただき、移住定住にもつなげていただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

明世地区まちづくり推進協議会（以下「明世」）

〇委員　青少年育成事業

中京が参加されるということになっていますが、高校生が参加されるということですか。

●明世

域学の関係で中京高校の生徒さんが参加いただけることになりました。

・市長コメント

今年度はコロナ対策を実施の上、行えるものは、行っていっていただきたいと思います。
明世は今年、ステップアップ事業にも申請いただいています。これまでは、個人の方の手作りの育成施設で、ある意味細々と行っておられましたが、今回はこのステップアップ事業を活用して、大々的に施設を改良・拡充するということです。明世にはホタルの大家（たいか）がいらっしゃいますので、その方と一緒に、ホタルのまちといったことでの PR をしていただければと思います。よろしくお願いいたします。

陶町明日に向って街づくり推進協議会（以下「陶」）

〇委員　防災減災セーフティネット事業

安否確認とありますが、毎年行っていますか。

●陶

毎年ではないですが、平成１９年からこういった取り組みを始めたのですが、その第一歩が安否確認でした。陶町はご老人や一人暮らしの方も多いですので、安否確認から始めたといった経緯があります。現在は安否確認について、定期的に行えていないので、また初心に返って行いたいと思っています。

○委員　防災減災セーフティネット事業

小学生を対象にした事業を開催される小学校防災教室について詳細をお聞かせください。

●陶

今年は具体的には決まっていませんが、昨年計画した段階では、地元の防災士や消防団に声をおかけする予定でした。昼間の開催なので消防団に協力いただくのはなかなか難しいところです。過去には小学校・中学校での開催について、岐阜大学の教授などの専門家に協力いただいて開催したこともあります。これから校長先生などと方法等について協議していきたいと思っています。

○委員

小学生を対象にした事業が地域にまたどのように、再び活かされるかといった還元も大事だと思います。

○委員　全般

まちの高齢化の率を見ますと、どういったことがまちの魅力を向上させるものかは、はっきりとは申し上げられませんが、そういった魅力向上のまちづくりの取り組みが考案されると良いなと感じました。

●陶

まちの魅力づくりもまちづくり組織の役割だとすれば、やはりそういったことを十分検討していきたいと思います。近いところでは、大湫町の取り組みはとても参考になります。まちづくりに意見を言ってもらえる若者が一人でも出てきてくれたらと思います。

・市長コメント

昨年は、コロナの影響でなかなか事業は行えなかったものと思います。また今年度も年の後半までは、厳しいのかなとも思っていますが、コロナ対策をしたうえで、行えるものは行っていっていただきたいと思います。陶は特に高齢化率が高いまちですが、そうした高齢者のかたと触れ合う機会を多く設けていただいてきたのが特徴です。しかし、コロナの影響でそういった事業も出来ていない。ですが、こういった事業は陶の方々がとても楽しみにしていた事業だと思いますので、是非とも状況をにらみつつ、実施していって欲しいと思います。高齢者の見守りですが、市では、託老所と連携して ICT を活用した見守り活動を行っていく予定です。実施に際しては、是非ともご協力をお願いします。また、交流人口に関わる事業を行ってみえます。陶町一周駅伝など、市外からも多くの人が参加されるイベントを行っていただいていますので、なんとか行えると良いなあと思っています。

【次第６　事務連絡】

≪事務局より事務連絡など≫

【次第７　閉会】

≪まちづくり推進部長より閉会のことば≫

以上